

## 【第1号議案】

### 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

#### はじめに

当財団は、平成2年(1990)4月1日に(財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団として設立以来、本年で32年を迎えました。これまでは、本格的な高齢化社会の到来を控え、また国民のニーズの高度化、多様化に対応し良質の医療を効率的に提供するためのシステムづくりが重要なことから、在宅でも医療が出来る環境の整備を図り、医療供給を施設中心から在宅中心へと転換する観点で、在宅ケアを推進していくために研究や事業助成を中心に助成事業に努めてまいりました。

これらの情報は、出版物「ふれあいの輪」やホームページ等で外部機関へ公開しています。また、助成を必要としている諸団体・個人への情報提供及び調査・研究事業の分野においても、質・量の両面で調査研究の成果を関係諸団体に対し提供を行い、わが国の在宅推進の向上に寄与することで広く社会へ財団の社会的役割を発信しております。

今や日本は世界でも類を見ないスピードで高齢化が進み、2021年9月現在の推計では、65歳以上の高齢者人口は3,640万人と、前年に比べ22万人増加し、過去最高となりました。経済財政諮問会議によりますと、医療・介護の給付は現状のままでは2040年に92.9～94.7兆円に膨らみ、地域医療構想の実現や医療費適正化計画の推進などによっても92.5～94.3兆円にまでしか抑えることができないとしております。また、医療・介護・福祉分野のマンパワーは、2040年には1065万人が必要となるため、健康寿命の延伸やICT活用などで必要数を抑えることができるが、それでも935万人が必要となるとしております。

こうした点を鑑み、「健康寿命の延伸」「医療・介護サービスの生産性向上」などに努める必要があるとされています。

当財団としても、2040年の将来展望を踏まえ、医療・介護・福祉分野で何が出来るかを模索しながら、地域包括ケアシステムの構築に向け地域共生社会の役割を多様な視点から考え社会貢献を目指してまいります。

創立30年の節目を迎えた今、新たな視点での事業の実施を図ると共に、更なる在宅ケアの推進にむけて、多様化する課題に対する研究や事業助成事業、または高齢者や障害者に対する支援助成を実施してまいります。また、人材育成のための教育研修や地域に根差した質の向上を目指す目的に活動を展開してまいります。

## [1]公益目的事業

### イ. 研究・調査・助成事業（公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業）

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであり、基本的には、在宅での医療機器、福祉用具を使用しての研究及び事業であります。

#### 1) 研究・事業助成事業

##### ● 1. 令和3年度選考委員会(第1回)

日時	令和3年2月4日〔木〕
開催方法	書面決議
出席者	(選考委員)北條 慶一 ・千野 直一 ・堀 勝洋 内田 恵美子 ・丸山 美知子 (厚生労働省)医療関連サービス室長 古田 章 (財団役員)松谷会長・池田理事長・門田選考担当理事・小宅常務理事
議題	令和3年度助成金募集要項について他

第1号議案 令和3年度研究・事業・ボランティア活動助成募集要綱（案）

第2号議案 助成事業の視点

第3号議案 令和3年度研究・事業・ボランティア活動助成助成金申請書（案）

第4号議案 令和3年助成金募集スケジュール（案）

第5号議案 当該選考委員会の決議日を令和3年2月4日とすることについて

##### 《報告事項》

令和元年度(第30回)、令和2年度(第31回)の研究助成・事業助成実施状況報告

①令和元年度(第30回)研究助成・事業助成の状況

②令和2年度(第31回)研究助成・事業助成の状況

##### 《その他》

①令和3年度事業計画について(理事会決議事項)

②選考委員の選任について(理事会決議事項)

##### ● 2. 令和3年度選考会(第2回)

※今般の令和3年度研究事業ボランティア活動助成金の採用に関する選考委員会は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中の影響により、委員会をオンライン(Web会議)並びに会場参加の併用で実施することとした。

日 時	令和3年5月19日〔水〕 15:30～17:00
場 所	Web 会議配信場所:京王プラザホテル 4階なつめ
会場	(選考委員)北條 慶一・千野 直一・丸山 美知子
出席者	(財団役員)松谷会長・池田理事長・選考担当理事 門田 和己 業務執行理事:小宅常務理事 事務局長:高巢 勝則
Web 会議 出席者	(選考委員)内田 恵美子・堀 勝洋 (厚生労働省)古田 章
議 題	令和3年度助成金採用の審議

#### 議題《協議事項》

- 第1号議案 議事録署名人の選出
- 第2号議案 令和3年度応募状況について
- 第3号議案 令和3年度助成金採用の審議
- 第4号議案 選考結果本人及び公表
- 第5号議案 助成金贈呈
- 第6号議案 理事会での承認

#### 《報告事項》

- (1)令和元年度、令和2年度助成状況
- (2)助成金の海外論文掲載報告
- (3)集録を書籍にする件（検討中）

### ●3. 令和3年度(研究助成・事業助成)募集カテゴリー

#### ○助成の対象

- ・在宅ケア等に関する創意工夫を生かした自発的な事業又は先駆的、実験的なモデル事業であって、地域の実情に即したきめ細かな研究事業で普及の可能性のあるものに対し助成を行う。
- ・臨床や地域で従事している職員及び福祉機器・医療機器の事業者の個人あるいはグループを対象とする。
- ・大学院生を対象とする。但し、指導教員の推薦書（別紙様式1-3）を添えて提出する。
- ・研究助成については大学教員の申請者は、応募の対象外といたします。

#### (1)研究助成カテゴリー

- ①地域包括ケア・訪問看護・在宅介護支援の拡大に関する研究
- ②医療機関から在宅医療・看護総合連携に関する研究、福祉用具の活用に関する研究  
在宅医療・介護に関する研究

- ③リハビリテーション活動や機器の関する研究
- ④難病やがん末期患者及び精神障害者の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
- ⑤福祉用具の開発及び活用・効果に関する研究
- ⑥その他（医療行為の安全、海外のホームケア、震災後のケア）

## (2)事業助成カテゴリー

- ①在宅療養者への医療・看護介護サービス実施事業
- ②高齢者や障害者（児）の在宅ケア推進関連事業
- ③認知症患者、難病患者、がん末期患者、精神障害者、被虐待者等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業

## (3)ボランティア活動助成

○在宅ケアの推進に資する事を目的として、高齢者や障害者（児）を対象として、公益のために活動しているボランティア団体に対して助成いたします。

### ●4. 研究・事業助成採用について

実施時期	助成金決定日～令和4年3月31日		
募集期間	令和3年2月15日～令和3年4月15日		
応募総数	47件	採用件数: 32件	助成金総額: 11,530, 000円
助成金累計総額	482, 560, 000円		

### ●5. 令和元年度（第30回）、令和2年度（第31回）の研究助成・事業助成実施状況報告

#### ①. 令和元年度（第30回）研究助成・事業助成の状況

- 1) 2019年度（第30回）研究助成・事業助成・ボランティア活動報告書について  
発行日 令和3年1月31日予定、発行予定 部数 265部
- 2) コロナウイルス感染症拡大のため助成期間延長者 6名（3か月2名、6か月4名）、  
報告書締め切りが令和2年11月末となり報告書が遅れた。  
事由：訪問調査、会議等ができなかったため
- 3) 返金者：助成期間を延長したが、実施できず全額返金1名
- 4) 報告書の未提出者1名（令和3年1月28日現在）  
平成30年度（2018年）助成者：Y・H、書類提出締切日2019年5月31日、2020年9月末会計報告提出有。研究報告書は未提出。

#### ②. 令和2年度（第31回）研究助成・事業助成の状況

- 1) 令和3年1月29日付で、助成者全員に報告書提出についての通知予定
  - ・助成期間と会計期間（令和2年5月下旬～令和3年3月31日迄）
  - ・報告書関係書類の提出期限日、期間約2か月位

2) 変更申請(期間延長申請)

コロナウイルス感染拡大のため助成期間延長の申請受付。申請者 20 名

内訳：研究助成 16、事業助成 2、ボランティア 2

●令和3年度[第32回]研究助成・事業助成採用者一覧表

採用件数 ■研究助成(24件 内 大学院生 8件) ■事業助成(3件)

■ボランティア活動助成(5件) 合計32件 助成金総額 11,530,000円

採用者一覧表は下記のとおりです。

■研究助成

①地域包括ケア・訪問看護・在宅介護支援の拡大に関する研究 (7件)

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
1 長崎県	長崎大学大学院	医歯薬学総合研究科保健学専攻・理学療法学分野	大学院生	しまだ ひなた 島田 陽向	後期高齢者の転倒予防に主眼をおいた介入戦略の開発に向けた調査研究
2 熊本県	おびやま在宅クリニック		院長補佐・看護師	たしろ きよみ 田代 清美	熊本県内の訪問看護師が参画したACP(人生会議)の実態調査
3 京都府	京都大学大学院 (医療法人社団プラタナス)	医学研究科社会学分野	客員研究員 (訪問診療 医師)	あのみあゆり 雨宮 愛理	訪問看護の利用における社会経済的な格差の解明
4 滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院	歯科口腔外科	外来医長兼病棟医 長・歯科医師	こしめしんや 越沼 伸也	地域包括ケアのためのオーラルフレイルの実態と栄養管理に関する実践研究 -急性期病院から在宅看護・介護につなぐ多職種連携情報の共有システムモデルの開発-
5 愛知県	医療法人瑞心会渡辺病院	リハビリテーション科	部長 理学療法士	いき ひでまさ 壹岐 英正	地域包括ケアにおいて、本人の選択と本人・家族の心構えの支援に有用な(アドバンス・ケア・プランニング)ACPサポートツール作成に関する研究-エンドオブライフに向けた日本人の価値観や嗜好に関する質問紙調査-(フェーズ2)
6 大阪府	大阪バイオメディカル専門学校	医療福祉心理学科	専任講師	もりもとともみ 守本 友美	ボランティア活動にみる住民の主体性形成に関する研究-高齢者ボランティアに焦点を合わせて-
7 福岡県	NPO法人みんなのプロ ジェクト		代表理事	みずの 水野 ひかり	医療ケアがあり重い障がいのある“当事者”の暮らし方をみんなで考える

②医療機関から在宅医療・看護総合連携に関する研究、在宅医療・介護に関する研究 (3件)

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
8 東京都	東京大学大学院	医学系研究科 健康科学看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学	大学院生	あねざき おり 姉崎 紗緒里	COVID-19感染拡大に伴う地域在住高齢者の地域活動への参加状況の減少がフレイルへ与える影響
9 静岡県	介護老人保健施設 花平 ケアセンター	リハビリテーション課	理学療法士	ほんだひるや 本田 浩也	高齢者における慢性疼痛と認知機能障害の関連性の検証
10 北海道	松前町立 松前病院	病院事務局管理係	主任医療相談員 (松前町職員)	こいで なお 小出 直	「北海道において長距離移動を伴う入院を経験した末期がん患者の在宅復帰支援に関する考察」 ～患者家族へのインタビューを通じて～

③リハビリテーション活動や機器に関する研究 (8件)

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
11 京都府	京都府立医科大学大学院	医学研究科リハビリテーション医学	研修員 理学療法士	ひしかわりのかず 菱川 法和	サルコペニアを併発した高齢関節リウマチ患者に対する在宅で可能な低強度運動プログラムの開発
12 新潟県	新潟万代病院 リハビリ テーション科	リハビリテーション科	理学療法士	ほんまたいすけ 本間 大介	変形性股関節症患者の下肢筋量および位相角と跛行の関係 -跛行の改善、健康寿命の延伸に向けた取り組み-
13 埼玉県	埼玉医科大学総合医療 センター	リハビリテーション部	主任 理学療法士	にしもとけんじ 西元 淳司	人工膝関節全置換術後においても膝痛が残存する患者を予測するための機械学習を用いた臨床予測ルールの作成 -多施設共同研究-
14 福島県	公益財団法人 仁泉会 北 福島医療センター	リハビリテーション技術科	理学療法士	たかのあや 高野 綾	化学療法を受ける造血器腫瘍患者の呼吸機能変化と運動機能および栄養状態との関係性
15 京都府	京都田辺記念病院	リハビリテーション科	医員	ねもと れい 根本 玲	回復期リハビリテーション病院入院患者の三次元加速度計を使用した身体活動量測定
16 大阪府	医療法人孟仁会 摂南総 合病院	リハビリテーション科	副主任 理学療法士	あがちりょう 赤口 諒	脳卒中患者の立位姿勢制御能力とバランス機能の関係について～新たな転倒予防戦略の提案に向けて～
17 福岡県	九州大学病院	リハビリテーション部	理学療法士	おかざぶつや 岡澤 和哉	人工膝関節全置換術前後におけるウェアブル端末の身体活動量、睡眠状態の評価が高齢者の疼痛に与える影響
18 茨城県	介護老人保健施設 セン トラル土浦	リハビリテーション科	理学療法士 主任	なかの ゆうじ 中野 雄司	OHスケール評価による褥瘡発生リスクと体圧分散センサーを用いた圧分散の評価との関連と体圧分散の見える化することでポジショニングへの理解向上に向けた取り組み

④難病やがん末期患者及び精神障害者の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究（5件）

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
19	兵庫県 神戸大学大学院	保健学研究科 看護学領域 精神看護学研究室	大学院生	かとう ゆういち 加藤 優一	精神科看護師のワーク・エンゲイジメントの関連要因の検討 ―精神疾患をもつ人々への地域生活支援の視点から―
20	兵庫県 兵庫大学大学院	看護学部看護学研究科 看護学専攻 広域看護学領域	大学院生	もりわきふみ 守脇 富美	訪問看護師が行う精神障害者の生活支援困難に関する研究
21	埼玉県 早稲田大学大学院	人間科学研究科 臨床心理学研究領域 神経・生理心理学研究室	大学院生	まちだ みのり 町田 規憲	地域生活を送る難治性精神疾患の機能的寛解促進を目的とした在宅実施型の心理・生理学的支援法の開発
22	東京都 東京医療保健大学大学院	看護学研究科	大学院生	さかぐちゆきこ 坂口 由紀子	遺伝性希少難病児の父親役割獲得と機能的家族への移行支援の検討
23	群馬県 群馬県立県民健康科学大学大学院	看護学研究科	大学院生	ますだ まさえ 増田 政江	重症心身障害児(者)の施設入所に関する母親の心理的プロセスの探索

⑤福祉用具の開発及び活用・効果に関する研究（応募なし）

⑥その他（医療行為の安全、海外のホームケア、震災後のケア）（1件）

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
24	茨城県 筑波大学大学院	人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 看護科学学位プログラム 発達支援看護学	大学院生	もちづぶすえ 望月 梢絵	保育所看護職のワーク・エンゲイジメントにおける関連要因の検討

■事業助成

①在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業（1件）

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
25	茨城県 介護老人保健施設 セントラルゆうあい	リハビリテーション科	主任代行 理学療法士	もりぐちゆり 森口 朱里	通所リハビリテーション利用者に対する運動効果の見える化と運動意欲向上に向けた支援

②高齢者や障害者(児)の在宅ケア推進関連事業（2件）

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
26	大阪府 泉佐野泉南医師会看護専門学校		専任教員 在宅看護専門看護師	ごとう ともこ 後藤 智子	地域住民と看護学生が共に考える『がんと暮らし』
27	東京都 特定非営利活動法人 東京こどもホスピスプロジェクト		理事長	さとう よしえ 佐藤 良絵	生命を脅かす病気で在宅療養しているこどもの希望を叶える、こどもホスピスルーム事業

③認知症患者、難病患者、がん末期患者、精神障害者、被虐待者等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業（該当なし）

■ボランティア活動助成（5件）

地域	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
28	東京都 NPO法人八王子視覚障害者福祉協会		理事長	みやかわゆん 宮川 純	地域貢献活動チーム10(ちーむてん) 子ども食堂を支援するプロジェクト
29	茨城県 特定非営利活動法人 かけはしねっと		副代表理事	やまだ ゆき 山田 由紀	自宅で長期療養中の医療的ケア児、障害児への専門職による整容(ヘアカット・ヘアセット等)の経験と機会の提供
30	京都府 訪問看護ステーションにしておふらっと相談室	訪問看護ステーションにしておふらっと相談室	訪問看護ステーションにしてお(管理者) ふらっと相談室(代表)	にしお けいこ 西尾 圭子	地域の看護師が主体となり健康教室・健康介護相談・講演会の開催などの居場所作り
31	佐賀県 ボランティアDIWA		プロジェクトリーダー(代表)	かざま ふみこ 風間 扶美子	支えるのは人 心に寄りそうくらしづくり
32	千葉県 一般社団法人BIGBLUES		理事	そうひろのり 宋 浩典	高齢者向けにラグビーを通じた運動促進

**ロ. 教育研修事業**〔公2:在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育研究事業並びにセミナーを通じての啓発活動事業〕

**1) 福祉用具専門相談員指定講習会の実施**

本研修会は、高齢者の増加かつ多様化するニーズに対応した適切な福祉用具等を提供するため、必要な知識技能を有する従事者を養成し、もって高齢者の自立の促進及び介護者の負担軽減を図ることを目的としております。

なお、本研修は、介護保険における福祉用具貸与(販売)事業者の人員基準で定める指定講習会(東京都知事が平成27年3月19日に指定した講習会)の指定を受けて実施するものです。

**第一回:福祉用具専門相談員講習会の開催〔27年度改正〕 6日間 50時間**

日時:令和3年11月11日(木)、12日(金)、13日(土)

11月18日(木)、11月19日(金)、20日(土) 合計6日間

会場:①『遠隔講義』11月11日(木)・12日(金)・13日(土)【3日間】

(1) 公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団から配信

(2) マロニエ医療福祉専門学校 理学療法士学科から配信

②『集合研修会場』11月18日(木)、19日(金)、20日(土)【3日間】

「ホテルローズガーデン新宿2F オークルーム」

住所:東京都新宿区西新宿 8-1-13 本館2F

参加者:26名

科目:福祉用具と福祉用具専門相談員の役割、介護保険制度に関する基礎知識、高齢者と介護・医療に関する基礎知識、個別の福祉用具に関する知識・技術、福祉用具に係わるサービスの仕組みと利用の支援に関する知識、福祉用具の利用の支援に関する総合演習

受講料:40,000円

**※福祉用具専門相談員講習課程**

区分	科目	時間数
講義	1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	
	(1) 福祉用具の役割	1
	(2) 福祉用具専門相談員の役割と職業倫理	1
	2 介護保険制度等に関する基礎知識	
	(1) 介護保険制度等の考え方と仕組み	2

	(2) 介護サービスにおける視点	2
	3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識	
	(1) からだとこころの理解	6
	(2) リハビリテーション	2
	(3) 高齢者の日常生活の理解	2
	(4) 介護技術	4
	(5) 住環境と住宅改修	2
	4 個別の福祉用具に関する知識・技術	
	(1) 福祉用具の特徴	8
演習	(2) 福祉用具の活用	8
	5 福祉用具に係わるサービスの仕組みと利用の支援に関する知識	
講義	(1) 福祉用具の供給の仕組み	2
	(2) 福祉用具貸与計画等の意義と活用	5
	6 福祉用具の利用の支援に関する総合演習	
演習	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	5
合計		50

(注) 上記とは別に、筆記に方法による修了評価（1時間程度）を実施する。

## 2)福祉用具プランナー研修会の実施

本研修会は、介護の現場において適正な福祉用具の利用が促進されるよう、福祉用具の取扱いに関する知識や個々の福祉用具の利用方法などの専門知識を有する人材の育成を図るとともに、福祉用具に携わる様々な職種の方に、福祉用具の適正な取扱いについて共通認識を育て、その基盤として福祉用具の適切な使用と供給の実現に資する事を目的としております。

### 第一回:福祉用具プランナー研修会の開催 100.5時間

日時:令和3年11月18日〔木〕～令和4年1月17日〔月〕 eラーニング期間

令和3年12月16日〔木〕～18日〔土〕 3日間 前期集合研修

令和4年 1月20日〔木〕～23日〔日〕 4日間 後期集合研修



主催:公益財団法人テクノエイド協会

集合研修実施機関:(公財)フランスベッドメディカルホームケア研究助成財団

場所:日本社会事業大学 文京キャンパス・「東京都文京区小石川 5-10-12」

参加者:18名 (内:補講者 1名・再試験者 2名)

受講料:58,000円(内、21,000円テクノエイド協会)

科目:住宅改造各論・対人援助技術・構造とメンテナンス・床ずれ防止関連用具、高齢者の身体特性・起居、排泄、移動、入浴、移乗関連用具・最新情報、職業倫理・福祉用プランニング演習他

※福祉用具プランナー認定講習カリキュラム(105.5時間)履修科目  
及び時間数

eラーニング科目	履修時間
福祉用具専門職の役割	1.5H
福祉用具概論	1.5H
福祉用具の選定と情報提供と相談技術	1.5H
相談援助のためのプランニングの理解	1.5H
相談援助のためのプランニングの実際	1.5H
介護保険におけるケアマネジメント	1.5H
対人援助技術	1.5H
職業倫理	1.5H
認知症の理解	1.5H
福祉用具供給の業務	3.0H
福祉用具供給に係わる法律関係	1.5H
介護保険制度と福祉用具	1.5H
福祉用具供給のリスクマネジメント	1.5H
高齢者の身体特性	1.5H
生活における基本動作・ADLの理解	1.5H
起居関連用具	1.5H
移乗関連用具	1.5H
移動関連用具(車いす/杖・歩行器)	3.0H
床ずれ防止関連用具	1.5H
入浴関連用具	1.5H
排泄関連用具	1.5H
食事・更衣・整容関連用具	1.5H
社会参加関連用具(自助具含む)	1.5H
コミュニケーション関連用具	1.5H
住宅改造総論	7.5H
構造とメンテナンス	1.5H
合 計	48.0H

【eラーニング受講条件】

- 1.自宅または職場等でインターネット接続可能なパソコンがあること。
- 2.一般的なパソコンの操作ができること。
- 3.受講者個人のメールアドレスを所持していること。

パソコン 環境要件 (システム等)	Windows OS/Windows8.1 Windows10 : Mac OS/OSXv10.11.6 ブラウザ/Windows/Microsoft Edge Chrome67 以降 FireFox60 以降 Mac/Safari12.1.1 以降 /Chrome70 以降/FireFox60 以降
モバイル (スマートフォン・タブレット)	iOS/ OS: iOS12 以降 ブラウザ:Safari(最新版) Android / OS :Android6.0 以降 ブラウザ:Chrome(最新版)
ソフトウェア	Adobe Reader がインストールされていない場合 Adobe 社のホームページから Adobe Reader の最新版をダウンロードし、インストールしてください。
その他	・日本語版のみ対象となります。 ・音声付きの教材になりますので、イヤホンやスピーカーなどをご用意ください。(音声再生ができる環境が必要になります。) ・快適にご利用いただくためには、Wi-Fi等、高速なインターネット接続をおすすめします。

集合研修科目	履修時間
最新情報【講義】	1.5H
相談援助のためのプランニングの実際【演習】	1.5H
相談援助のためのプランニング演習【演習】	9.0H
対人援助技術【演習】	3.0H
職業倫理【演習】	1.5H
高齢者の身体特性【演習】	1.5H
生活における基本動作・ADLの理解【演習】	1.5H
起居関連用具【実技】	3.0H
移乗関連用具【実技】	3.0H
移動関連用具(車いす/杖・歩行器)【実技】	3.0H
床ずれ防止関連用具【実技】	3.0H
入浴関連用具【実技】	3.0H
排泄関連用具【実技】	3.0H
食事・更衣・整容の活動と用具【実技】	1.5H
社会参加関連用具【実技】	
コミュニケーション関連用具【実技】	
住宅改造【演習】	9.0H
構造とメンテナンス【実技】	3.0H
合計	51.0H
福祉用プランナー認定試験	1.5H
総合計	100.5H

#### 【標準的なカリキュラム】

福祉用具プランナー認定講習は、履修時間 100.5 時間の上記カリキュラムとし、「座学」(48.0 時間)については、学習時間や学習場所に拘束されない「e ラーニング」による学習方法とし、公益財団法人テクノエイド協会内に設置する福祉用具プランナー認定講習 e ラーニング用サーバーにアクセスして履修する。また、「実技・演習・修了試験」(52.5 時間)については、集合研修とし、期間内に集合研修のカリキュラムを履修する。

【受講資格条件】 受講条件は、下記の i ~ iii を満たす者とする。

- i 資格(いずれか1つに該当すること)
  - a. 指定福祉用具貸与事業所又は指定特定福祉用具販売事業所において、福祉用具専門相談員として、その業務に従事している又は従事した経験のある者
  - b. 福祉用具関連業務に従事している又は従事した経験のある次の者。保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士、介護支援専門員、建築士(一級・二級・木造)
  - c. その他、認定講習を受講することが特に有効であると理事長が認める者
- ii 実務経歴

認定試験実施日において、福祉用具専門相談員業務または福祉用具関連業務に2年以上従事した経験がある者

iii eラーニング受講環境等

- a. 自宅もしくは職場等で e ラーニング学習に必要な環境、教材を確保できること。
- b. 一般的なパソコン等の操作ができること。
- c. 受講者個人用のメールアドレスを所持していること。

**【補講・再試験の申込手続き】**

(公財)テクノエイド協会HP「福祉用具プランナー情報システム」内「様式ダウンロード」より、「福祉用具プランナー認定講習(補講・再試験)申込書」をダウンロードし、(公財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団までお申し込みください。

再試験費用 3,100 円(消費税込み)

### 3)リフトリーダー養成研修の実施

本研修会は、介護労働者の身体的負担軽減や腰痛予防のため、移動用リフトをはじめとする福祉用具の活用が望まれており、介護者の腰痛予防を図るために、利用者ニーズに対応した質の良いサービス提供の促進に向け、アセスメント手法と身体機能に合わせた福祉用具の選定や活用方法を学び介護支援に携わる専門職の資質向上を図ることを目的にしております。

#### **第一回:リフトリーダー養成研修会**

日時:令和3年12月10日〔金〕から11日〔土〕 2日間

場所:札幌市産業振興センター「札幌市白石区東札幌5条1丁目 1-1」

参加者:22名 再試験者5名

受講料:15,000円(内、テクノエイド協会2,700円)

科目:リフトリーダーの助成金制度・腰痛の原因対策・介護作業とリフト  
移乗関連用具指導法

※この研修終了後には、リフトインストラクター認定試験を実施しております。  
筆記試験・実技試験の実施

#### **第二回:リフトリーダー養成研修会**

日時:令和3年10月8日〔金〕から9日〔土〕 2日間

場所:フランスベッド:広島ショールーム会議室

「広島県広島市安佐南区大塚西 4-16-1」

参加者:26名 再試験者 5名

受講料:15,000円(内、テクノエイド協会2,700円)

科目:リフトリーダーの助成金制度・腰痛の原因対策・介護作業とリフト  
移乗関連用具指導法

※この研修終了後には、リフトインストラクター認定試験を実施しております。  
筆記試験・実技試験の実施

※2021年度リフトリーダー養成研修カリキュラム

	科目	科目内容	時間
第1日目	リフトリーダーと助成金制度 (講師)市川 洸	○リーダーとしての役割と心構え ○各種講習と考え方 ○助成金制度の概要とポイント ○腰痛予防対策チェックリストの活用	10:00 〃 11:30 (90分)
	腰痛の原因と対策 (講師)市川 洸	○介護者の腰痛発生状況とその原因 ○腰痛予防に関連する法令、指針など ○腰痛予防対策 ○労働衛生管理のすすめ方 ○機器導入効果の検証方法	12:30 〃 14:00 (90分)
	介護作業とリフト (講師)市川 洸	○吊具の種類と特徴 ○リフトの種類と特徴 ○介護作業のアセスメント ○次回実技の概要説明	14:10 〃 17:10 (180分)

第2日目	移乗関連用具指導法 (講師)市川 洸	○リフト等の使い方	9:00
		○リフト等の指導法	〃
		○機種別(選択)実技	16:00
		○個別相談	(360分)

※研修会終了後、希望者には JASPA 介護リフト普及協会にてリフトインストラクター認定試験を行います。受講希望される方は、申し込み用紙にその旨記載願います。  
当研修受講の方は無料で受験できます。試験は筆記試験並びに実技試験を行います。

- ◆1日目:筆記試験 17:20～
- ◆2日目:実技試験 16:10～

#### 4) 講演会等の実施について

1. セミナー・啓発研修会活動では、ホームケアを目指したテーマを取り上げ高齢者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立って情報提供を行い、又、それを支える専門職の方への現任教育として講演会等を実施しております。

#### 2. 研修会、講演会

今年度については、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みただで年1回の Web セミナーを実施した。

#### 3. Web セミナーの概要

「テーマ」 2022年医療・介護従事者フォーラム in 茨城 Web セミナー

～アフターコロナ・ウイズコロナに向けた、新たな医療改革の構築～

日時:令和4年度3月12日(土)13:30～16:30

場所:フランスベッドホールディングス会議室 より Web 配信

講演:第1部「今後の医療制度について

(診療報酬改定を含めて)」

講師:日本ヘルスケア上席研究員(元厚生労働省 事務次官)

二川 一男氏

第2部「ここが知りたい感染対策」

講師:防衛医科大学校 防衛医科研究センター

教授 加来 浩器氏

定員:150名

参加費:無料

主催者:公益財団法人フランスベッドメディカルホームケア研究助成財団

後援:社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院

協賛:フランスベッド株式会社 ・ フランス総合医療サービス株式会社

## ハ. 支援助成事業[公3:在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこどもたち等への組織に対する支援助成事業]

1. 令和3年度在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこども達への支援活動をしている団体に対する支援助成募集要綱に基づき公募により実施いたしました。

### ●支援助成の主旨

在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこども達等へ地域に根差した療養生活の質の向上と支援体制の醸成を図る目的で支援活動をしている団体に対し、支援助成を行うものとし、令和2年度は次の方針で支援助成を行います。

### ●支援助成対象となる事業

#### 1) 高齢者福祉分野

高齢者が健康で安心に加え、生きがいのある人生を送るための創意工夫を生かした自発的な事業又は高齢者福祉の増進を目的とした先駆的、実践的なモデル事業を対象として支援助成を行います。

#### 2) 難病のこども福祉分野

難病のこども達に対し、地域社会で充実した生活が送れる支援事業、在宅生活に適した啓発活動を実施している団体に対し支援助成を行います。

#### 3) 新型コロナウイルス感染症予防対策活動分野

難病、がん末期等の疾患のある要介護高齢者や重度心身障害児・者は、感染予防のために通所サービス等の利用が困難となっている。このような状況の中、利用者の安全を確保しつつ、医療介護福祉と連携し利用者の在宅療養継続に尽力しているのが療養通所介護である。今回、新型コロナウイルス感染症分野として、療養通所介護事業所を支援助成対象となる。

### ●支援助成期間

令和3年5月24日～令和4年3月末とする。

2. 支援助成募集により、提出された申請を基に選考委員会を開催し決定いたしました。

### 3. 選考委員構成(3名)

佐藤 美穂子	公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事
本田 彰子	聖隷クリストファー大学 看護学部 成人看護学 教授
久留 義武	一般社団法人シルバーサービス振興会

2021年度支援助成金採用決定内訳表(在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこども達への支援活動している団体に対する支援助成)

カテゴリ分類申込:事業内容(①高齢者福祉分野(申込3件) ②難病のこども福祉分野(6件) ③療養通所事業者への支援助成)(10件)

カテゴリ分類採用:事業内容(①高齢者福祉分野(1件) ②難病のこども福祉分野(5件) ③療養通所事業者への支援助成(9件))

①高齢者福祉分野 (1件)

地域	所属施設名・団体名	団体分類	代表者名	役職名・職名	テーマ
東京都	健康生きがい学会	②任意団体 2.団体事務所	京極高宣	会長	健康生きがい学会 第11回大会

②難病のこども福祉分野 (5件)

地域	所属施設名・団体名	団体分類	代表者名	役職名・職名	テーマ
北海道	療養デイサービス結 10周年記念誌制作委員会	③その他(有限会社) 3.勤務先等(療養サービス結)	佐々木秀代		療養通所記念誌を通して、医療的ケア児・者の理解、支援拡大 事業
東京都	認定NPO法人難病のこども支援 全国ネットワーク	①特定非営利活動法人 2.団体事務所	岡 明	会長	分身ロボットOrHimeを活用した外出支援
神奈川県	株式会社マザー湘南	③その他(株式会社)	塚田桂子		療養通所に通う高齢者と難病こどものためのホームシアター
大阪府	特定非営利活動法人ちやいんど りいむ	①特定非営利活動法人 2.団体事務所	平山五月	代表理事	MayMayのHANAREを作ろう
兵庫県	医療法人社団思葉会MEIN HAUS児童発達支援・放課後等 デイ	③その他(医療法人)	市橋 梨加	管理者	MEIN HAUS児童発達支援・放課後ディ

③新型コロナウイルス感染予防対策活動分野(9件)

地域	所属施設名・団体名	団体分類	代表者名	役職名・職名	テーマ
神奈川県	医療法人 誠医会 療養通所介護まこと	③その他(医療法人)	宮川政久	理事長	感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
神奈川県	医療法人 啓和会	①特定非営利活動法人 2.団体事務所	神山重子		感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
愛媛県	公益財団法人日本訪問看護財 団立 在宅ひなたぼっこ	③その他(財団法人) 3.勤務先等	西村順子	統括所長	感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
札幌市	社会医療法人社団 愛心館	②任意団体 2.団体事務所	高橋順一郎	理事長	感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
埼玉県	彩西ナーシングケア	①特定非営利活動法人 2.団体事務所	関口良子	代表理事	感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
神奈川県	株式会社プラスキューア	③その他(株式会社) 2.団体事務所	村田薫	代表取締役	感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
滋賀県	有限会社ケアサポートリブ	③その他(一般財団法人) 2.団体事務所	寺田みや子	取締役	感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果
東京都	株式会社やさしい手	③その他(社団法人) 2.団体事務所	カトリ 香取 幹		新型コロナウイルス感染予防をした上での療養通所の運営
三重県	公益社団法人三重看護協会 ナーシングヒル・なでこ	③その他(公益社団法人) 2.団体事務所	柳川 智子		感染対策を強化するために資する備品や物の購入による効果

高齢者福祉分野(1件)

難病こども福祉分野(5件)

新型コロナウイルス感染症予防対策活動分野(10件)

## 二. 調査、研究事業〔公4:在宅ケアに必要とする医療や看護、介護の総合的な資質の向上を図る目的のもとに調査、研究の実施事業〕

- 在宅ケアに関する調査、研究並びに情報の収集と課題分析を整理し、高齢者が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることが望ましいと考えます。そのためには、医療、看護、介護にかかわる専門職の役割は重要であり、いかに質的なケアができるかが大きな課題でもあります。利用者の目線から医療、看護、介護関係者の居宅サービスがどのように捉えているかの実態調査を行い、課題抽出しその改善策として何が必要であるかを明らかにすることで、専門職に携わる関係者に情報提供することで質的な向上を図ればなお一層国民一人一人の生活基盤が築けることで豊かな社会が望めるものと確信しております。

### (調査、研究の流れ)

1. 期初に本年度の財団の実施する調査、研究のあり方検討委員会を立ち上げ、計画の立案を策定いたします。
2. 調査、研究を行うための財源並びに必要とする財産としては、
  - ・公益目的事業の区分会計処理を行い、基本財産の運用益もしくは寄付金による共通費から支出し財源を確保してまいります。
3. 調査、研究の成果の公表としては、年度に調査、研究が終了した段階で報告書を作成し、関係機関への送付を行います。

### (2021年度調査、研究事業のテーマ)二班での実施

①	調査研究事業テーマ	「マルチポジションベッド導入効果の検証」患者・職員それぞれの視点から効果を検証する。
	目的・意義	マルチポジションベッドは「ベッドポジション」(寝姿勢)、「リクライニングポジション」(長座位)、「シーティングポジション」(端座位)、「スタンディングポジション」(立ち上がり)という4つのポジションを取ることができるベッドである。各ポジションを様々な場面ごとに活用することで、リハビリ支援、誤嚥リスク軽減等のメリットを生むことが可能と考えられる。病院において試験的に導入し、患者に対しては自立支援や活動負担の軽減、職員に対しては介護負担軽減の面から効果を検証する。
	委託契約者	医療法人社団永生会 永生病院 看護部長 安藝 佐香江
調査研究期間	令和4年1月1日から令和4年12月末日まで	
調査委託事業費	1,000,000円 (ただし、500,000円を前払い、中間報告書を確認後残金500,000円の支払い)	



	調査研究 事業テーマ	ICT 及び自立支援ベッド等福祉用具の活用による介護負担軽減 評価
②	目的・ 意義	ICTと様々な福祉用具のイノベーションを最大限活用し、病院入院患者や有料老人ホーム等施設入所者の自立を支援。看護職や介護職の精神的、身体的負担の軽減により、ゆとりをもち生き生きとした看護・介護現場を創造し、未来ある日本独自の介護・看護システムの構築を目指すものである。
	委託契 約者	有限会社望月彬也リハデザイン代表取締役 望月彬也
研究期間		令和4年1月 1 日から令和4年12月末日まで
調査委託事業 費用		1, 000, 000円 (ただし、500, 000円を前払い、中間報告書を確認後残金500, 000円の支払い)

**ホ.海外調査、研究、研修事業**〔公5:海外の先進医療や福祉機器の先端技術の革新から見る総合的な視点から、視察、調査、研究、研修を实地し、国内への啓発事業〕

**1. 海外研修計画について**

- ①医療機関が実施している海外研修への参加
- ②海外の認知症対策への取り組みの視察、調査の実施
- ③医療機器・福祉用具の展示会並びに取り組みに関する状況の把握、調査
- ④海外における高齢者対策へのサポート事業(福祉用具の専門職の人材育成研修会等の実施)
  - イ) 中華人民共和国香港特別行政区において福祉用具相談員人材育成研修の開催を予定していた。
  - 中華人民共和国香港特別行政区の平均寿命は徐々に延び、2014年は男子が81.2歳で世界一、女子は86.7歳と、日本と僅差の2位である。男女平均では、日本を上回り、世界有数の長寿を誇っている。高齢化率も2014年の15%から、30年後の2044年には、30%を超えると予測される。今後の高齢者への取り組みは喫緊の課題である。そこで日本がこれまで高齢者対策の取り組みした福祉用具の普及と共に専門職の人材育成が必要不可欠であることから、今回の研修会を実施する予定である。「研修内容」・高齢者の身体特性、廃用症候群、介護技術、福祉用具の必要性和用具の種類と選択
    - ①起居、移乗、移動関連用具(電動ベッド、タッチアップ、リフト、車いす)
    - ②床ずれ防止関連用具(エアマット)
    - ③排泄関連用具(尿器、ポータブルトイレ、紙おむつ)
    - ④住宅改修(手すり・スロープ)

⑤入浴関連用具(シャワーチェアー、シャワーキャリー)

※実施時期は調整中、香港の社会情勢や新型コロナウイルス感染の影響により、実施できなかったのが次年度において研修計画を行うものとする。

ロ、中華人民共和国浙江省の浙江省老年サービス協会とのコラボで認知症予防対策のセミナー開催予定

- 中華人民共和国浙江省の老年サービス協会は中国民生局の直属の機関でおよそ200名の会員メンバーで構成されている。また、会員組織には2800か所の老人保健施設を運営されている。今、浙江省では高齢者の認知症が急激に増加傾向にあり喫緊の課題でもある。その課題を解決するために、今まで日本が取り組みしてきた一つに認知症予防対策としてダイバーショナルセラピーの実践を交えた講演会を実施予定である。

ハ、JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業 ～案件化調査(SDGs ビジネス支援型)～  
対象国:タイ国

案件名:「タイ国日本式福祉用具レンタルサービス案件化調査」

提案法人:フランスベッド株式会社、公益財団法人フランスベッド・メディカルホーム  
ケア研究助成財団 東海機器工業株式会社

- 上記イ)、ロ)、ハ)の海外研修事業については、現行、新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外渡航が禁止されている状況化であり、国の渡航許可が解除される状況を見ながら判断していく事とする。

## [2]収益事業

### [収1:在宅ケアに関連した、医療、介護、看護分野のニーズを捉え小冊子の発行事業]

1)季刊誌「ふれあいの輪」を収益事業として、会計区分しております。

高齢者が安心して在宅生活を送り、住み慣れた我が家で最期を迎えることは、誰もが望むところである。そのためには社会資源を活用したネットワークの構築と情報の共有化が不可欠である。情報の共有化の一つとして、季刊誌「ふれあいの輪」の配布を医療、看護、介護を含む幅広い分野の皆様に配布を行っております。

- 1. 医療、看護、介護の専門分野の方に執筆をお願いし、社会の動向を踏まえた最新情報を掲載し一般国民の皆様にも提供しております。
- 2. 1年4回の発行(夏、秋、冬、春)1回の発行部数12,650部

No.201 (夏号) 2021.7.1 発行	・トップインタビュー 超高齢社会を乗り越える持続可能な社会モデルを「神奈川県」から示したい
----------------------------	--

	<p>神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室ヘルスケア・ニューフロンティア推進担当部長 大木 健一氏</p> <p>・ヘッドライン</p> <p>10時間のオゾン消毒で厚生省基準の倍 CT 値を実現 フランスベッド株式会社田無リネン工場工場長 内野 雅之 氏</p> <p>・新しい高齢者ケアの取り組み</p> <p>「認知症でも在宅介護が続けられる」本人も家族も安心できる認知症ディサービスを目指して 社会福祉法人奉優会 弥生高齢者在宅サービスセンター 事業所責任者 坂本 美紀 氏</p> <p>・在宅ケアを支える人</p> <p>制度のはざまにある課題を拾い適切なサービスへとつなぐ 文京区社会福祉協議会地域福祉コーディネーター 社会福祉士 藤本 愛 氏</p> <p>・福祉用具の活用事例</p> <p>和室にも洋室にもフィット家具調デザインの 座いす型リフトアップチェア</p> <p>・寄稿</p> <p>今こそ“楽しむ”ことを大切に！ ～閉じ込めない、遠ざけないダイバーショナルセラピーの実践 NPO 法人日本ダイバーショナルセラピー協会 理事長 芹澤 隆子 氏</p> <p>・トピックス</p> <p>(公財)フランスベッド財団 令和3年度 第32回 助成事業の採用案件決定！</p>
<p>No.202(秋号) 2021.10.1 発行</p>	<p>・トップインタビュー</p> <p>展開期を迎えた医療情報の電子化と活用 「ポケットカルテ」が医療サービスを変える。 社会福祉法人岡本病院(財団)京都岡本記念病院 副院長 北岡 有喜 氏</p> <p>・介護最前線</p> <p>人生100年時代の高齢者モデルルームが富士山麓にオープン ファルマバレーセンター センター長 植田 勝智 氏</p> <p>・新しい高齢者ケアの取り組み</p> <p>歩ける喜びを取り戻すにはディサービスだけでなく自宅で</p>

	<p>の運動習慣がカギになる 機能訓練専門ディサービス「ゆずりは」東京都 ゆずりは事業部長 湯原 啓太 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•ズームアップひと 在宅医療は、命を懸けた医療ではないが、これを知らなきや 医者として全うしたと言えないくらい、奥行きが深いものだ。 社会医療法人社団堀之内病院地域医療センター 在宅診療科 医学博士 小堀 鷗一郎 氏</li> <li>•在宅ケアを支える人 高齢者と医療者の情報の”橋渡し役”として活躍している 医療コミュニケーター 株式会社日本医療企画ヘルスケア教育・研修事業本部 教育出版・メディア開発部 課長 志村 真奈美 氏</li> <li>•(公財)フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団 研究・事業助成採用 事例 「在宅療養者における口腔のサルコペニアが栄養状態・嚥 下機能に及ぼす影響について」</li> <li>•福祉用具の活用事例 文字や物体を認識して音声で教えてくれる「オーカムマイア イ2」視覚障害者の行動範囲を拡大</li> </ul>
<p>No.203(冬号) 2022. 1. 1 発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•財団設立30周年記念座談会抄録 これからの介護とケア 日本のホームケアはどこに向かうのか</li> <li>•トップインタビュー 放射線療法のひとつ「重粒子線がん治療」は、体の深いと ころにあるがん病巣を狙い撃つ 佐賀国際重粒子線がん遅漏財団 理事長 中川原 章 氏</li> <li>•介護最前線 介護現場のニーズを開発企業へ厚労省が介護ロボット開 発を支援 厚生労働省老健局介護ロボット開発・普及推進室 室長補佐 東 好宣 氏</li> <li>•新しい高齢者ケアの取り組み 大学・団地・自治体が一体となって運営 住民が気軽に立 ち寄れる街角 藤田医科大学地域包括ケア中核センターサテライト 「ふじたまちかど保健室」藤田医科大学保険衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法士 医学博士 都築 晃 氏</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•在宅ケアを支える人 在宅療養の継続のカギは栄養と食事 自宅を訪問して指導 一般社団法人日本在宅栄養管理学会理事長 前田 佳予子氏</li> <li>•(公財)フランスベッドメディカルホームケア研究助成財団 研究・事業助成 採用事例 「地域で取り組む ACP 活動に、チョイスカードを取り入れることによる意思決定への影響の検証」</li> <li>•福祉用具活用の事例 職員の業務効率化と入居者様の自己防止 ベッド内臓 見守りケアシステム M-2</li> </ul>
<p>No.204号(春号) 2022. 4. 1 発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•トップインタビュー 世界発の脊髄損傷治療手術に成功。IPS 細胞を使って中枢神経系の再生に挑む。 慶應義塾大学医学部 教授 岡野 栄之 氏</li> <li>•介護最前線 開発の最先端では、まだ見ぬ多様な介護ロボットが出番を待っていた。 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター センター長 近藤 和泉 氏</li> <li>•新しい高齢者ケアの取り組み 退院後にも専門的なリハビリを。脳血管疾患後遺症に特化して全国展開する自費リハビリ施設 脳梗塞リハビリセンター(東京港区)</li> <li>•在宅ケアを支える人々 「心」のスペシャリスト複雑化する現代社会の人々の心にアプローチ 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会 顧問 瀧口 俊子 氏</li> <li>•ズームアップ人 特別なことをしているという意識はありません 患者様が困っているのであれば助けるのは当たり前のことです 茨城県大子町 慈泉堂病院 理事長 鈴木 直文 氏</li> <li>•福祉用具の活用事例 電気で筋肉を茂樹して緊張を緩和歩行トレーニングに大きな効果 バイオネス NESSL300 宝塚リハビリテーション病院療法部 中谷 知生 氏</li> </ul>

3. 配布先については、購入事業者(フランスベッド㈱)全国97箇所の営業所へ配布を行い、各医療、看護、介護関連施設並びに一般の方々へ届けております。

## 2. 管理部門

令和3年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

### [1] 許認可事項

なし

### [2] 会議開催状況

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

#### (1) 理事会(書面評決による決議の省略による定時理事会)

##### 第29回定時理事会(令和3年5月28日)

第1号議案 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業報告及び決算承認の件

第2号議案 定時評議員会の招集通知について

第3号議案 保有株式の権利行使について

第4号議案 令和3年度研究事業助成採用について

その他報告事項

##### 第30回定時理事会(令和3年10月22日)(書面評決による決議)

報告事項Ⅰ 令和3年度上期事業報告並びに財務諸表報告について

1. 令和3年度〔令和3年4月1日～令和3年9月30日〕事業報告の件
2. 令和3年度〔令和3年4月1日～令和3年9月30日〕財務諸表報告の件
3. 報告事項

(1) 震災義援金募金残高報告

(2) 内閣府より立入検査の通知

報告事項Ⅱ

1. 2021年下期の事業計画について

決議事項

1. 臨時評議員会(書面決議)の招集通知について
2. 当該理事会の決議を令和3年10月22日とすることについて

#### 臨時理事会(令和4年1月1日) 書面評決による決議

決議事項

第1号議案 役付理事選定の件

### 第31回定時理事会(令和4年2月7日) Web 会議

- 第1号議案 令和4年度事業計画
- 第2号議案 令和4年度収支予算書
- 第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第4号議案 定時評議員会の招集通知の件
- 第5号議案 選考委員の選任について
- 第6号議案 基本財産運用規程の見直しのポイント

#### その他報告事項

- ① 2022年度事業計画について
- ② 事務所移転のお知らせ

### 臨時理事会(令和4年3月28日) 書面評決による決議

- 第1号議案 主たる事務所移転の件

## (2) 評議員会

### 第20回定時評議員会(令和3年6月17日)Web 会議

- 報告事項 1. 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)  
事業報告の報告

#### 「決議事項」

- 第1号議案 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)  
計算書類等承認の件・監査報告
- 第2号議案 役員(理事)の選任の件
- 第3号議案 役員(監事)の選任の件

- 報告事項: 1. 保有株式の権利行使について
- 2. 令和3年度研究事業助成採用について

### 臨時評議員会(令和3年12月31日)書面評決による決議

#### 「決議事項」

- 第1号議案 役員(理事)の選任の件
- 第2号議案 役員退職慰労金支給に関する件

### 第21回定時評議員会(令和4年2月25日)Web 会議

- 承認事項 1 令和4年度事業計画
- 承認事項 2 令和4年度収支予算書
- 承認事項 3 資金調達及び設備投資見込み額

#### その他報告事項

- ① 選考委員の選任について

- ② 令和4年度事業計画
- ③ 基本財産運用規程の見直しのポイント

#### 臨時評議員会(令和4年3月28日)書面評決による決議

第1号議案 定款一部変更の件

第2号議案 令和4年3月28日に評議員会の決議があったとみなされる日

### (3)企画委員会

#### 第1回 季刊誌「ふれあいの輪」夏号企画委員会(令和3年4月16日)

- イ) 第201号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

#### 第2回 季刊誌「ふれあいの輪」秋号企画委員会(令和3年7月16日)

- イ) 第202号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告

#### 第3回 季刊誌「ふれあいの輪」冬号企画委員会(令和3年10月15日)

- イ) 第203号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

#### 第4回 季刊誌「ふれあいの輪」春号企画委員会(令和4年1月13日)

- イ) 第204号の掲載内容の検討会
- ロ) 各頁の進捗状況報告会

### [3]内閣府提出資料

#### (1)事業報告等に係わる提出書

公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規程により提出。

- ・提出日:令和3年6月23日(火)
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:財産目録、役員等名簿、報酬等の支給の基準を記載した書類、計算書類等

#### (2)変更届書

公益財団法人の認定等に関する法律第13条1項に係る変更をしたので届出ます。

- ・提出月日:令和3年12月31日
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当



**(3) 事業計画等に係る提出書**

公益財団法人の認定等に関する法律第 22 条1項の規定により、提出いたします。

・提出月日:令和4年3月30日

・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当

**3. その他報告事項**

**[1] 熊本地震震災義援金募金額**

※(管理口座名義: 公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団  
東日本大震災義援金口にて別会計口座の管理)

(単位:円)

研修会〔講演会〕	募金額	所管部署
前期繰越金	581,104	
利息	5	
3月31日現在 計	581,109	